

経済活動と法

対象クラス	第3学年 ビジネス科・ビジネス情報科(ソフトウェア活用類型)	単位数	2
使用教科書	経済活動と法 新訂版 (実教出版)		
使用副教材	全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級 経済活動と法(実教) 経済活動と法 新訂版 問題集(実教)		

「経済活動と法」はこんな科目です。

- ・経済生活や日常の市民生活を送るうえで、欠くことのできない知識です。
- ・物事を法律的に捉え考えることの大切さを学習します。
- ・知ると知らぬでは生活を送るうえで大きな差となります。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・ビジネスに必要な法規に関する基本的な知識を身に付けます。
- ・経済社会における法の意義や役割について理解し、経済事情を法律的に考え、判断する能力と態度を養います。
- ・法の効力や適用・解釈について学習し、社会の変化と法との関連について学びます。
- ・全商の商業経済検定(経済活動と法)の取得を目指します。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・学習内容について関心をもち、自ら進んで単元の知識や技能を目指し取り組もうとしているか。	・行動観察 ・プリント ノート
思考・判断・表現	・学習内容について自ら思考を深め、適切に判断し、的確な思考判断ができたか。	・行動観察 ・プリント ノート
技能	・学習内容の意義や役割について理解し、法の存在意義を確かめ、法的思考力を深めることができたか。	・行動観察 ・プリント ノート
知識・理解	・学習内容について基本的な知識が習得し、日頃の生活で活用できるよう生かされる知識と理解を身に付けたか。	・行動観察 ・プリント ノート 中間・期末考査

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 経済社会と法 第2章 権利・義務と財産権 【前期中間考査】	1 変化発展する経済社会と法 1 権利・義務とその主体 2 物と財産権 3 知的財産権	・法を学ぶための基本的な事柄を理解します。 ・法律関係は即権利・義務の関係であることについて学習し理解します。 ・財産権の内容として経済的利益があることを理解します。 ・財産権の変動はほとんど契約によることを理解します。
前期期末	第3章 財産権と契約そしてその保護 【前期期末考査】	1 財産権と契約 2 物の売買 3 物の貸借 4 契約によらない財産権の変動 5 財産権の保護	・売買契約の法律的性質、意味について理解します ・不動産、動産、債権について理解します。 ・民法の典型的契約である消費貸借・賃貸借を理解します。 ・宅地、建物の特別法について理解します。 ・契約・相続以外に、財産権の権利関係を変動させる制度としての時効について、その制度の趣旨や内容を理解します。 ・債権の対外的効力について理解します。 ・債権取引の安全を確保するため、債権者平等の原則の例外として担保物権があることを理解します。 ・不法行為の意義・要件について理解します。
後期中間	第4章 企業活動に関する法 【後期中間考査】	1 企業活動の主体 2 営業活動の自由と制限 3 株式会社と法	・経済活動全般のルールや株式会社について学習し、企業活動を法律の面から理解します。 ・商行為の種類、商人と商業使用人の存在を学習させ、法律の規定にもとづいて責任関係等を理解します。 ・営業自由の原則について理解します。 ・株式会社の法律的意義を学習します。

<p>学 年 末</p>	<p>第5章 取引に関する法</p> <p>第6章 企業の責任と法</p> <p>【学年末考査】 【全商商業経済検定】</p>	<p>1 手形・小切手と法 2 金融取引</p> <p>1 法令順守 2 消費者と法 ～かしこい消費者であるために～ 3 労働と法 4 紛争の予防と解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の法律的意義を学習します。 ・手形・小切手について法律上の要件と制度について理解します。 ・金融取引の現状と課題について学習し、金融取引に関する法律がどのように立法されたかを理解します。 ・生活を支え、社会への責任をはたし、生き甲斐のもとに働くことを学習します。 ・社会生活を支える経済活動の中心に企業があり、雇用問題にかかわる法について学習します。 ・労働の提供に関する民法上の諸規定について理解します。 ・商業経済検定に合格に向け、問題集で取り組みます。 ・過去問により合格に向け、理解を深めます。
----------------------	---	--	---